



「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト公開セミナー2012の様子
(平成24年5月28日(月)「知の拠点あいち」にて開催)

平成25年4月19日(金)

○愛知県産業労働部

・あいち産業科学技術総合センター
企画連携部企画室

担当 青井、鹿野

電話 0561-76-8306 (ダイヤルイン)

・産業科学技術課科学技術グループ

担当 吉富、中川

内線 3383、3382

電話 052-954-6351 (ダイヤルイン)

○公益財団法人科学技術交流財団

・知の拠点重点研究プロジェクト統括部

担当 青木、松村、中山

電話 0561-76-8370 (ダイヤルイン)

「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト公開セミナー2013 の参加者を募集します！ —食の安心・安全技術開発プロジェクト—

愛知県は、大学等の研究シーズを企業の実用化・製品化につなげる産学行政連携の共同研究開発プロジェクト『「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト』*¹を実施しています。

このたび、「食の安心・安全技術開発」に関する研究成果及び今後の実施計画について、関連企業並びに県民の皆様に広く知っていただくため、「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト公開セミナー2013を開催します。プロジェクト成果の講演後は、研究室においてこれまでに開発した試作装置の展示・実演を行います。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

1 行事名

「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト公開セミナー2013
—食の安心・安全技術開発プロジェクト*²—

2 日時

平成25年5月13日(月) 午後1時から午後4時30分まで

3 場所

あいち産業科学技術総合センター 1階 講習会室
(豊田市八草町秋合1267-1 東部丘陵線リニモ「陶磁資料館南駅」下車すぐ)

*会場には、公共交通機関を利用してお越しく下さい。

4 参加費

無料

5 定員

200名(先着順)

6 主催

愛知県、公益財団法人科学技術交流財団

7 内容

○13:00~13:06 主催者挨拶 愛知県、(公財)科学技術交流財団

○13:06~13:14 プロジェクト研究全体概要 豊橋技術科学大学 教授 ^{たなかさぶろう}田中三郎 氏

○13:14~13:47 食品に残留した農薬検査装置の開発

テーマ	概要	講演者
残留農薬検査の簡易・迅速・自動化	微量に残る農薬を選択的に、手間をかけずに検出できる	(公財)科学技術交流財団 主幹研究員 ^{さいとういさお} 斎藤 勲
農薬検査のための前処理と検出	特異的、選択的分離、検出装置を使って精度よく農薬等の分析ができる	中部大学 応用生物学部 教授 ^{やまもとあつし} 山本 敦 氏
イムノクロマト ^{※3}	抗体を使った農薬検査キットをお茶の間でも使えるようになる	(公財)科学技術交流財団 主任研究員 ^{あだちかよ} 足立 香代

○13:47~14:07 食品に混入した微生物(大腸菌、食中毒菌等)検査装置の開発

テーマ	概要	講演者
微生物微小コロニー検査装置	自動化、短時間化、菌同定可能化で出荷前検査が可能になる	豊橋技術科学大学 研究員 ^{かいやしんいち} 海谷 慎一 氏
MALDI-TOFMS ^{※4}	短時間で微生物の株レベルまで分類同定できる	(株)島津製作所 分析計測事業部 主任 ^{しま けいすけ} 島 圭介 氏

○14:22~15:30 食品に付着・混入した異物検査装置の開発

テーマ	概要	講演者
SQUID ^{※5} (超高感度磁気センサー)	100 μ m程度の微小磁性金属検出ができる	豊橋技術科学大学 研究員 ^{おおたにたけよし} 大谷 剛義 氏
新型金属探知機	液体食品中でも金属異物を検出できる	アドバンスフードテック(株) 代表取締役社長 ^{すずきしゅういち} 鈴木 周一 氏
超音波の新しい利用法	包装されたレトルト食品に混入した毛髪も検出できる	名古屋工業大学 准教授 ^{いとうとしひろ} 伊藤 智啓 氏
NIR ^{※6} (近赤外線)	食品に混入した虫、毛髪などを検出できる	豊橋技術科学大学 教授 ^{ふくだみつお} 福田 光男 氏
THz波 ^{※7} (テラヘルツ波)	透過力が強い性質を利用した食品異物の検出の可能性について	名古屋工業大学 教授 ^{べい じゅんそく} 裴 鐘石 氏
MRI ^{※8} (核磁気共鳴画像)	小型化で見えてきた食品の異物検査装置への展開	豊橋技術科学大学 研究員 ^{はったじゅんいち} 八田 純一 氏

○15:45~16:30 各研究室にて試作装置の見学(申込不要)

8 申込方法

参加申込書に必要事項（会社名、電話番号、氏名、所属、E-mail アドレス）を記入のうえ、FAX または E-mail でお申し込みください。

* 参加申込書の入手方法：本県の HP からダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/0000059915.html>

なお、講演会のみ参加申込が必要で、研究室の見学には参加申込は不要です。

9 申込締切

平成 25 年 4 月 30 日（火）まで（但し、定員に達し次第締め切ります。）

* 参加受付証は発行しませんので、お申し込みの上、直接会場にお越しください。

なお、定員超過の場合のみ連絡させていただきます。

<申込先>

公益財団法人科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部

FAX : 0561-21-1653

E-mail : juten-p2@astf.or.jp

10 申込問合せ先

公益財団法人科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部

TEL : 0561-76-8370 FAX : 0561-21-1653 E-mail : juten-p2@astf.or.jp

用語説明

用語	説明
※1 「知の拠点あいち」 重点研究プロジェクト	愛・地球博バスターミナル跡地に整備された次世代ものづくり技術の創造・発信拠点である「知の拠点あいち」で行われている産学行政の共同研究プロジェクト。大学等の研究シーズを企業の製品化・事業化へつなげる橋渡しの役割を担う。
※2 食の安心・安全技術 開発プロジェクト	(下記に記載)
※3 イムノクロマト	生体内において、ウイルスなどの異物が侵入すると異物に対して抗体が作られる。抗体が作られる原因となった物質を抗原という。抗体はその異物（抗原）にのみ結合する性質をもち、この性質と分離法（クロマトグラフィ）を組み合わせた検査方法。
※4 MALDI-TOFMS	マトリクス支援レーザー脱離イオン式飛行時間型質量分析計。試料をレーザーを用いて試料分子イオン（気化）にし、イオン化された物質の検出器への到達時間の違いより分離し、質量を測定する装置。
※5 SQUID	高感度な磁気の検出器。微小な磁場（磁界）の変化を測定できる。
※6 NIR	近赤外線とよばれる可視光（波長：約400nm～800nm（nm：ナノメートル、1nm=1/1000μm=1/1000000mm））より波長の長い、約800nm～2500nmの波長の光。透過力が強く、非破壊・非接触で食品や化学組成の分析に利用できる。
※7 THz波	テラヘルツ波は、周波数が0.1～10THz（波長：約0.03～3mm）で、電波と光の中間の性質を持つ電磁波。電波のように物を透過することができ、光のように多くの情報を運ぶことができる。
※8 MRI	磁気と電波を利用して物質の内部を観察し、画像化する装置。

※2 「食の安心・安全技術開発プロジェクト」の概要

プロジェクト リーダー	豊橋技術科学大学 教授 田中三郎 氏
内容	全国有数の食品工業の集積地であり、多様な農産物を産出する本県において、食品や農産物に含まれる有害化学物質、固形異物、微生物を高精度、迅速、低コストに検査する技術を確立する。
参加機関	<p>10大学6公的研究機関20企業（うち中小企業6社）（平成25年2月1日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うち大学 豊橋技術科学大学、名古屋大学、名古屋工業大学、名城大学、中部大学、名古屋市立大学、名古屋学芸大学、富山大学、金沢工業大学、香川大学 ・うち公的研究機関 愛知県衛生研究所、愛知県がんセンター、愛知県農業総合試験場、あいち産業科学技術総合センター、(公財)科学技術交流財団、(財)京都高度技術研究所

「知の拠点あいち」重点研究プロジェクト

食の安心・安全を守る 検査、検出技術研究開発成果を公開

残留農薬検査、毛髪、虫などの混入異物検査
大腸菌、食中毒菌などの微生物検出

食の安心・安全技術開発プロジェクト [P2]
平成24年度研究成果発表、試作機展示、実演

参加無料

定員 200名

定員になり次第締め切ら
させていただきます

公開セミナー 2013

日時

2013.5.13日 13:00~16:30 [受付 12:00~]

会場

「知の拠点あいち」(あいち産業科学技術総合センター) 1階講習会室、3階研究室
〒470-0356 愛知県豊田市八草町秋合1267番1

主催



公益財団法人科学技術交流財団



問い合わせ

公益財団法人科学技術交流財団 TEL:0561-76-8370(担当:佐藤)

食の安心・安全技術開発プロジェクト [P2]

食は、「栄養」だけでなく、「残留する有害化学物質、混入異物、微生物など」に対しても安心・安全を確保する必要があります。輸入品がTPPでさらに増加すると予想され、安全を検査する新しい技術の開発への要求は高まっています。愛知県では、平成22年度から産学行政連携のもとに、食の安心・安全にかかわる技術開発を実施しており、毎年1回成果を公開しています。多くの皆様にご参加頂き、いろいろなお意見を賜り、後半の開発に活かしたいと思います。

講演プログラム

時間	内容・テーマ	研究担当者・講演者(○印)
13:00~13:06	挨拶	あいち産業科学技術総合センター 所長 中野達夫 公益財団法人 科学技術交流財団 専務理事 岩田勇二
13:06~13:14	①プロジェクト研究全体概要	○豊橋技術科学大学 教授 田中三郎
—食品に残留した農薬検査装置の開発—		
13:14~13:27	②残留農薬検査の簡易・迅速・自動化: 微量に残る農薬を選択的に、手間をかけずに検出できる	○(公財)科学技術交流財団 主幹研究員 斎藤勲
13:27~13:37	③農薬検査のための前処理と検出: 特異的、選択的分離、検出装置を使って精度よく農薬等の分析ができる	○中部大学 応用生物学部 教授 山本敦
13:37~13:47	④イムノクロマト:抗体を使った農薬検査キットをお茶の間でも使えるようになる	○(公財)科学技術交流財団 主任研究員 足立香代 豊橋技術科学大学 教授 岩佐精二
—食品に混入した微生物(大腸菌、食中毒菌等)検査装置の開発—		
13:47~13:57	⑤微生物微小コロニー検査装置: 自動化、短時間化、菌同定可能化で出荷前検査が可能になる	○豊橋技術科学大学 研究員 海谷慎一 豊橋技術科学大学 教授 中内茂樹
13:57~14:07	⑥MALDI-TOFMS:短時間で微生物の株レベルまで分類同定できる	○(株)島津製作所 分析計測事業部 主任 島圭介 名城大学 教授 田村廣人
14:07~14:22	休憩(15分)	
—食品に付着・混入した異物検査装置の開発—		
14:22~14:34	⑦SQUID(超高感度磁気センサー):100ミクロン程度の微小磁性金属検出ができる	○豊橋技術科学大学 研究員 大谷剛義 豊橋技術科学大学 教授 田中三郎
14:34~14:45	⑧新型金属探知機:液体食品中でも金属異物を検出できる	○アドバンスフードテック(株) 代表取締役社長 鈴木周一 豊橋技術科学大学 教授 田中三郎
14:45~14:55	⑨超音波の新しい利用法:包装されたレトルト食品に混入した毛髪も検出できる	○名古屋工業大学 准教授 伊藤智啓 豊橋技術科学大学 教授 穂積直裕
14:55~15:05	⑩NIR(近赤外線):食品に混入した虫、毛髪などを検出できる	○豊橋技術科学大学 教授 福田光男 豊橋技術科学大学 非常勤講師 新井紳一
15:05~15:17	⑪THz(テラヘルツ)波:透過力が強い性質を利用した食品異物の検出の可能性について	○名古屋工業大学 教授 裏鐘石、富山大学 准教授 荻戸立夫
15:17~15:30	⑫MRI(核磁気共鳴画像):小型化で見えてきた食品の異物検出装置への展開	○豊橋技術科学大学 研究員 八田純一 豊橋技術科学大学 准教授 廿日出 好

■試作機展示、実演:3階研究室(301室、302室) 15:45~16:30 ■交流会:会費(500円) 事前申込不要 17:00~18:00

アクセス/申込み・問い合わせ

「知の拠点あいち」(あいち産業科学技術総合センター)

〒470-0356 愛知県豊田市八草町秋合1267番1 <http://www.astf.or.jp/>

交通アクセス 公共交通機関をご利用ください。

鉄道:「名古屋」(地下鉄東山線)→「藤が丘」(東部丘陵線リニモ)→「陶磁資料館南」(50分)
道路:名古屋瀬戸道路・長久手ICより東へ約3km/猿投グリーンロード八草ICより西へ約800m
[駐車場:無料 約70台] ※駐車場には限りがあります。

申込み方法 参加ご希望の方は「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ下記まで

FAX 0561-21-1653 E-mail jutem-p2@astf.or.jp

※間違い防止のため、電話でのお申込みはお受け致しませんのでご了承ください。

問い合わせ

公益財団法人科学技術交流財団 TEL:0561-76-8370(担当:佐藤)



参加申込書

申込み期限

4月30日(火)

定員になり次第締め切らせていただきます。

(ふりがな) _____ TEL _____

会社名 _____ FAX _____

氏名	所属	E-mail
(ふりがな) _____		
(ふりがな) _____		
(ふりがな) _____		

※ご記入いただきました個人情報は、本件に係る対応及び今後の関連セミナー等へのご案内のみに利用します。